



▼活動の目的

梓川は源を槍ヶ岳に発し、上高地を経て流れ下る名川の一つである。しかし、沿岸地区の関心が薄く、梓川に係わる団体や活動は少ない。この観察会では水性生物の実態調査と水質など河川の諸要因との関係を調べ河川環境の意識を高めることを目的としています。

▼活動の内容

高い位置（土手）から川全体を見渡し、川に関わる名称や川の形態を知る。

川の諸要因と水生生物との関係を水中メガネ等を使ってみる。

採集生物を分類し生物化学的判定法（資料）によって川の清汚を調べ梓川の認識を深める。

川周辺の動植物（トンボ、鳥、川原植物）にも目を向け、川との関係をみる。

基本的水質検査方法（pH測定、水温、気温等）を知る。

▼活動の効果

公民館関係者は今回の観察会の詳細（写真等使って）を広報に取り上げ、川に関する諸活動のきっかけとしたいと今後の活動に意欲を現していました。（9月号）

参加者は川は唯々危険なところと思っていたが、正しい行動をすれば極めて楽しいところであり、又水が大切なものであることを知り、今後も川に親しみ大切にしていこうという発言が多数ありました。

▼苦勞した点・反省点

水中メガネ、ルーベなど一回の買い物で目的の数が揃わず、イベント終了後にとどいたり、買いそびれてしまった。その為、一部活動内容が変わったところもあり残念だった。

当初6月12日を予定していたが、同じ場所近くで他の市主催の催しがありやむなく8月6日に延期した。この為夏休中で家庭の計画があり、参加できなかった、夏休み以外の土、日にやってほしかったという意見が数件あった。